



発行・カトリック水巻教会
 編集・広報委員会
 遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
 〒807-0025
 TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
 第369号

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

フランシスコ教皇様の2018年四旬節のメッセージを 一緒に考えて思いめぐらしましょう。

四旬節は、生活のあらゆる側面で心の底から主に立ち帰るよう私達に呼びかけ、そのことを実現させます。今年も、この恵みのときを喜びと真理のうちに過ごせるよう、このメッセージを通して、わたしは教会全体のために役立ちたいと思います。自分自身に問いかけましょう。偽預言者はどんな姿をしているのでしょうか。彼らは、人々を奴隷にして思い通りに動かすために、人間の感情を操る「蛇使い」のようです。どれほど多くの神の子が、一時的な楽しみを幸福と取り違え、そのとりこになっていることでしょうか。いかに多くの男女が、金銭という幻想に夢中になりながら生活していることでしょうか。その幻想は実際、人々を利益やわずかなもうけの奴隷にするだけです。自分自身に満足していると思いつつも、孤独に支配されている人がどれほどいることでしょうか。

偽預言者は「詐欺師」にもなります。彼らは苦しみに対して簡単で手短な解決策を示しますが、それらはまったく役に立ちません。どれほど多くの若者が麻薬、「用が済めば切り捨てる」人間関係、安易だが不正な利益といった誤った治療を施されていることでしょうか。また、まったくバーチャルな生活にとらわれている人々がどれほどいることか

しょう。そこでの結びつきは、非常に容易で迅速であるかのように思えますが、まったく無意味であることが後に判明します。これらの詐欺師は価値のないものを与え、その代わりに尊厳、自由、愛する力といったもっとも大切なものを奪います。思い上がりという錯覚により、私達はうぬぼれ屋になり愚かな状態に陥ります。そして、その状態からのちに自分自身を取り戻すこともありません。

「すべての悪の根」(一テモテ6・10)である金銭欲は、何よりもまして愛を弱めます。そして人は神を拒むようになり、そのために神のうちに慰めを求めることを拒絶し、みことばや秘跡による慰めよりも孤立した状態を好むようになります[3]。こうしたすべてのことは、胎児、病気を患う高齢者、移動者、外国人、さらには自分の期待にそぐわない隣人といった、自分にとって「確かなもの」を脅かすように思われる人に対する暴力を引

世界三大宗教を知る	3面
小教区委員会	4面
幼稚園より	4面
青田神学生より・短歌	5面
生活支援施設の相次ぐ火災	6・7面
熱演に感動	7面
お知らせ・教会学校	8面

き起こします。

私達の共同体の中でも愛は冷えています。使徒的勧告『福音の喜び』の中で、わたしはこの愛の欠如のもっとも顕著なしるしを描こうとしました。それらは怠惰な利己主義、実りをもたらさない悲観主義、孤立願望、互いに争い続けたいという欲望、表面的なものにしか関心をもたない世間一般の考え方などです。こうして、宣教的な情熱は失われていきます [4]。

何をすべきか

たとえ、これまで述べてきたしるしを私達が自分自身の内面や周囲に見つけたとしても、母であり師である教会は、この四旬節の間、祈りと施しと断食という美味な薬を、時には苦い真理の薬と一緒に与えてくれます。

「祈る」ために長い時間を費やすことにより、私達の心は自分自身をあざむく隠れた嘘を暴き [5]、神の慰めを最終的に探し求めます。神は私達の父であり、私達が生きることを望んでおられるのです。

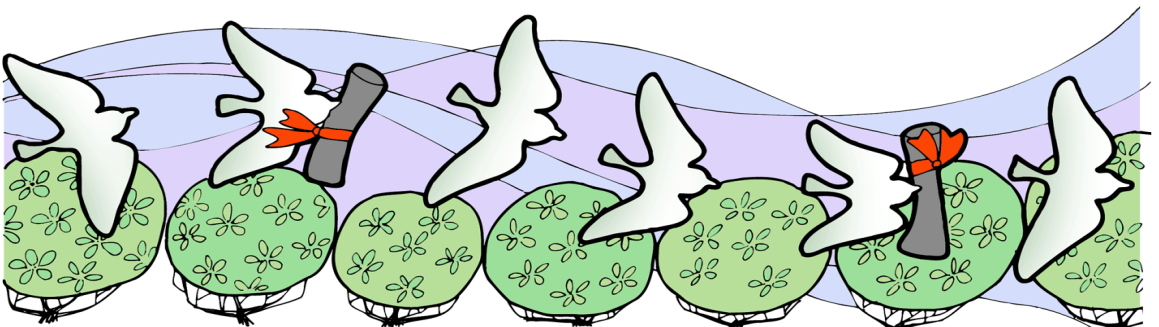
「施し」は、私達を欲深さから解放し、隣人が自分の兄弟姉妹であることに気づかせてくれます。自分のものは、自分だけのものではないのです。一つひとつの施しは、ご自分の子どもに対する神の摂理にあずかる機

会です。もし今日、誰かを助けるために神がわたしをお使いになるなら、明日にはわたしが必要としているものも与えてくださるかもしれません。神ほど惜しみなく与えるかたはいないので [6]。

最後に断食は、私達の中にある暴力を鎮め、武装を解かせるものであり、私達の成長にとって重要な機会です。断食は、必要最低限のものさえ不足する状態や、空腹に見舞われる日々の苦しみを体験させてくれますが、その一方で善意に飢え、神のいのちを渴望している、私達の霊的状态も表しています。断食は私達を目覚めさせ、神と隣人にさらに心を向けるよう促し、神に従う意欲を燃え上がらせます。神は私達の飢えを満たす唯一のかたなのです。

とりわけ信者の皆さんにお願いします。施しと断食と祈りによって力づけられ、熱意をもって四旬節の歩みを進めてください。たとえ多くの人々の心から愛が消えそうになっても、神の心がそうなることは決してありません。神は私達が再び愛し始められるように、新たなチャンスを常に与えてくださいます。

[番号]は同文書に付随する参考文献。聖堂で配布しています。



(世界三大宗教を知る) 仏教(4) 基本的な知識 No.2

※巡礼

一番すごいのはチベット仏教徒の巡礼です。インドやブータンや中国から歩くだけでなく、体を地面に投げ出す礼拝の五体投地をしながら聖地への巡礼をするものです。一回の五体投地で3m程度しか進みませんから、聖山のカイラス山やラサにあるチベット仏教の聖地の大昭寺への巡礼に往復3年くらいかけて、五体投地をしながら家族で巡礼している人たちが沢山います。そのグループは生活物資をリヤカーや背にかついで移動しています。大昭寺の周りでも五体投地で回っている人が沢山います。この人たちは決して悲壮な決意を表面には出していませんでした。このような苦しい巡礼をしているにも関わらず、むしろ楽しそうに見えました。ここまで純化して修行している人は悲壮な状態をはるかに超えているのではないかと思います。私たちの車が通るとき私たちに向かってニコニコと笑って手を振ってくれました。これも死後の輪廻転生で永遠の成仏をするための祈りです。

日本で巡礼と言うと四国八十八か所が有名です。一度で歩くと一カ月以上かかるそうですが、チベット仏教の巡礼は規模が全く違います。人生を掛けて巡礼をするのです。

※仏像

仏教のシンボルはブッタの骨と仏足跡でした。仏舎利というのはブッタの遺骨のことです。最初は仏舎利が入った仏塔だけで仏像はありませんでした。

紀元前三世紀にマケドニアのアレキサンダー大王が東に向かって進軍しました。そして今のパキスタン地域まで進軍しました。このアレキサンダー大王の遠征でヘレニズム文化が南アジアに伝えられました。パキスタンのガンダーラ美術館には初期の仏像が残されていますが、この顔はギリシャ彫刻と全く同じなのに驚かされます。ガンダーラ・ペシャワール博物館展が福岡であった時に見てびっくりしたのを覚えています。最近ペシャワール博物館に行ったことがある人に聞いた話も私の記憶と同じでした。

仏像は最初仏塔の周りに飾られていました。礼拝の対象はあくまでも仏舎利でした。それから時が過ぎて寺院が誕生して、そこに祭られたのが仏像だったようです。

その仏像は中央アジアのタクラマカン砂漠を経て西の国に伝わって行きましたが、その過程で東アジアでは仏塔が少なく、寺院と仏像が中心になったと思われます。

しかし東南アジアや南アジアでは仏塔は沢山あります。特にミャンマーのバタンという町は見渡す限りに仏塔が建っています。その数は二千ともいわれ圧巻の風景です。

どこの国でも古代からの信仰がありました。仏教が侵入して行ったどの国にも古代の信仰がありましたので、その名残は仏像に残っているようでした。特に南アジアには不思議な仏像が沢山あります。仏教が伝えられた西のはずれである日本の仏像は一番洗練されたものになっていると思います。日本には仏教思想が凝縮された美しい仏像が沢山あります。

(次回からはイスラム教について書いてみたいと思います 広報 岩本)

委員会等報告

2018年2月分

2月度小教区委員会 2月11日

1. 行事予定

- 3月2日(金) 共同回心式
9:30~ 19:30~
 - 3月4日(日) 小教区委員会
 - 3月23日(金) ホームレス炊き出し
 - 3月25日(日) 受難の主日(枝の主日)
 - 3月29日(木) 聖木曜日 19:30~
 - 3月30日(金) 聖金曜日 19:30~
 - 3月31日(土) 復活徹夜祭 19:30~
 - 4月1日(日) 復活の主日 10:00~
ミサ後茶話会
 - 4月7日(日) 小教区委員会
- (2) 総会までのスケジュール
- 5月6日(日)小教区委員会 総会議案確認
 - 5月中旬 会計監査
 - 6月3日(日)小教区委員会 総会議案最終確認と印刷
 - 6月10日(日) 総会議案 配布
(総会2週間前)
 - 6月24日(日) 総会
- (3) 地区集会開催予定
- 3月11日(日) 遠賀地区、吉田地区
 - 3月25日(日) 赤間地区
その他地区は別途決

2. 議事

(1) 2018年度行事予定

- 2018年度行事予定を確認。承認を得た。
- 2018年度は11月に「小教区の集い」を開催。
- その他、例年通りの行事を予定。



水巻聖母幼稚園から3月のお知らせ

いつも水巻聖母幼稚園へのお祈り・ご協力ありがとうございます
お陰様で、今年度も無事3学期を終えられます。

☆「みんななかよく」

◇「おはなしこんぺいとう」

日 時 3月8日(木) 10時30分~12時 幼稚園ホール
楽しいお話をしていただきます。みんなで聞きにきてください

☆「卒園式」

日 時 3月17日(土) 教会聖堂 10時~11時
どうぞ、卒園児のために心合わせてお祈りください。

園長 Sr 松川明子・職員一同

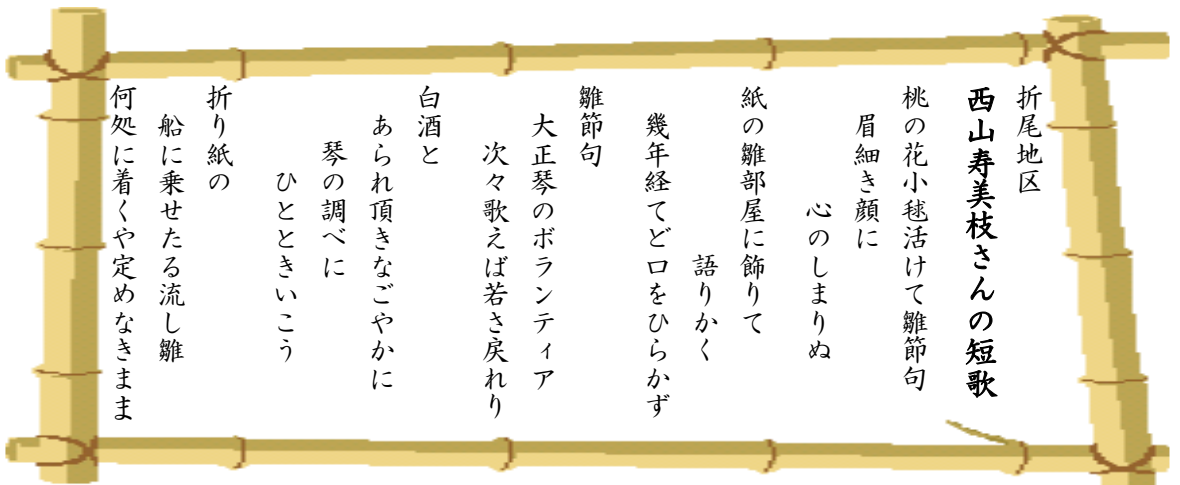
青田神学生よりお別れの挨拶

マヘル神父さま、水巻教会の皆さま、一年間本当にお世話になりました。年度末の試験と、宗像での「選任前黙想会」を終え、神学院に戻り、あらためて水巻教会での一年間を思い起こしています。

初めて水巻教会にお邪魔したのは昨年度の「受難の主日」でした。皆さまにとっての「受難」の始まりだったかもしれません。一年間を思い起こせば至らないことばかりです。聖木曜日から復活の主日まで、実習生としては始めて小教区のお手伝いをさせていただきました。毎日毎日、典礼儀式書を確認しながら、一方でミサが始まると確認したはずの手順が思い出せず、もたついたことも思い出されます。堅信の勉強も同様、幼児洗礼で、ある意味「なんとなく」堅信を受けた自分にとって、堅信クラスをいざ担当するとなると、何をどう教えていいのかさっぱり分からず、試行錯誤のクラスでした。水巻教会の皆さまのパワフルなサポートのお陰で無事堅信式を迎えることができました。

これから地元の浦上教会に戻り、3月16日の「祭壇奉仕者」選任に向けて準備をしていきます。あらためてその責任の重要さと同時に、自分自身の至らない部分に気づかされます。今年も間もなく四旬節が始まります。今年の教皇さまからのメッセージは「不法がはびこるので、多くの人の愛が冷える」(マタイ 24:12)がテーマです。「施しと断食と祈りによって力づけられ、熱意をもって四旬節の歩みを進める」よう呼びかけられています。時にわたしたちの心は挫けそうになることがあります。しかし神さまの心がそうなることは決してありません。神さまは、わたしたちが再び歩み始めることができるよう、新たなお恵みをつねに与えて下さいます。

この一年間を今思い起こせば、毎回毎回、全ては水巻教会の皆さまを通して、神さまからの「新たなお恵み」をいただいていたのだと気づかされます。皆さまお一人お一人を通していただいたお恵みを思い起こしながら、今年四旬節を過ごしたいと思います。あらためて感謝申し上げます。水巻教会の皆様、一年間ありがとうございました。ヨセフ青田



生活支援施設の相次ぐ火災を悼みます

生活支援を受けている、あるいは自立の期待をされているが全般に貧困な入居者を有する居住施設の火災が、相次ぎました。2006年1月の長崎県大村市の認知症高齢者グループホームの火災、2015年には川崎市の簡易宿泊所で火災；そして、2017年5月には、私達も一助を行っています NPO 法人「抱撲」による被支援者の入居していた北九州市小倉北区清水のアパート「中村壮」の火災、同年8月秋田県横手市のアパート、そしてこのたびは2018年1月、札幌市の自立支援施設「そしあるハイム」の火災(11人死亡)が起きました。

秋田県横手市のアパートでは、精神障害者や生活保護受給者を多く受け入れていました。建物は、建築後50年の木造2階建て。自治体には届け出の無い無料低額宿泊所でした。

札幌の「そしあるハイム」では設立目的として、路上生活者ら身寄りのない人や、障害者らの生活・就労支援を目指し、2005年に設立された合同会社「なんもさサポート」が運営；それは福祉関連の法律に基づいた施設ではなく、消防上は「下宿」として届けられた共同住宅で、スプリンクラーの義務付けはなく、実際、設置されてないものでした。入居者16人のうち13人は生活保護受給者でした。

この消防上の状況は違法ではありませんが、資金難であることは当然で、これ以上、防火対策にかける費用もないのが、実状でした。テレビで見聞した限り、極寒の札幌というのに、我々、本州南部～九州の人間がやるのと同様、あるいはそれより安全上ほど遠く、某所(1F)に石油タンクがあり、そこで石油を汲み、各自の部屋に運んで石油ストーブで暖を取っていた、その1Fの給油場所付近が激しい出火場所だったようです。

NPO 法人「抱撲」の被支援者も関係していた北九州市小倉北区の中村壮については、火災以降、数か月経っても、テレビでも話題が送られていました。ここでの入居者は16名。そのうち4名が生活保護受給者で、他の方は年金生活者や日雇い労働者でした。被災の点では、16名中6名が死亡、救急搬送された方は5名でした。死去された方には、友人の借金の連帯保証人になったばかりに、人生をその返済に捧げなければならなくなり、支払いが終わった頃に中村壮に入居、その後、この被災を受けたと聞きます。他の方も多くが、悲惨な運命に遭った様です。

以下では、同法人の理事長の奥田牧師がまとめた文章を元に紹介します。『中村壮に関係していた不動産業者は「自立支援居宅協力者の会」の協力会員で、NPO 法人「抱撲」は、この業者の会から、物件情報を頂く立場にあった。「抱撲」には、中村壮に関して、お金がなく、さしあたり行き場のない方に「一時的な場所」として提供して頂いていた。そもそも、同法人「抱撲」の運営するシェルターがあるが、それは臨時的なもので、その後、公営(北九州市)の「ホームレス自立支援センター北九州」への入所を目指すことが方針だった。亡くなったうちお一人のKさんについて、2007年から9年間の野宿の上、一旦、同法人のシェルター

に入居、その後、上記の公営施設への入所を希望されたが、保障人がないとの理由で断れた。(抱撲が法人保障を申し出たが、それでも断られた)。やむなく、当の中村壮に入居、その後も、同法人の支援は継続、最近には中村壮からの転居も相談されていた。』

この様に、北九州地区には次善の策として、ホームレス状態→「抱撲」の緊急シェルター→公営の「ホームレス自立支援センター北九州」→完全自立の道が、奥田師等の努力もあって確立できていました。しかしこの公営施設に入居が認められなかった人、あるいは、そこで集団生活・部屋が矮小なので避けたい人が、中村壮等に身を寄せていた様です。

最後に、奥田師によって列挙された問題点、および解決方法の提案を列挙します。問題点は：①住宅確保要配慮者が活用できる低廉で安全な住宅が不足。②消防法等に照らして安全な居住であったか。③物件の貸主側の不安を払拭する材料がない(ほとんどの不動産業者は、貧困で、保証人のない人達には貸さない)。一方、これらの解決の一助となる方法；「安心住宅を提供できるネットワーク」事業の開始、生活支援付住宅の整備、生活支援付き保証人提供事業の開始、行政との連携強化(居住支援協議会との協働)などが提言されています。

我々、水巻教会の信徒の皆さんが、抱撲を通じてホームレス支援に大きくかかわっていることは、意義あることです。さらに一歩進んで、ようやくホームレスを脱したレベルの貧困な方々に目を留め、一方で、未信者の不動産業者でも、ほとんど利益にならない居住物件貸出を行っていることも鑑み、私達にできることが何か、考えてみましょう。(広報委員 三谷)



熱演に感動



2月17日(土)、18日(日)リバーウォーク内にある北九州芸術劇場で「劇団さばと座」による「そして サンタ・マリアがいたーキリシタン復活物語ー」の公演がありました。

ローマカトリック教会側から言う「浦上信徒発見」の物語です。

1628年の江戸幕府によるキリシタン禁教令から、約250年間神父様の滞在もなく、「7代後にパードレが表れ、我らの信仰を称えてくれ」ることを信じて信仰を守り続けた浦上の信徒のお話です。

水巻教会には長崎出身の方が多く、この物語は多くの方が知っておられると思いますのであらずしは省きますが、この一件から「浦上4番崩れ」につながり、この「旅」から、浦上信徒の固い信仰心が育まれました。

「劇団さばと」は、キリシタン復活の1865年から150年を経た2015年を記念してできた劇団です。この浦上教会を中心に長崎教区ないの教会、付属団体で構成された素人劇団ですが、監督、脚本担当の古巣馨神父様の指導の元、キャスト、スタッフが一丸となり、劇は見応えのある内容の仕上がりでした。(広報委員・山口)



3月のおしらせ



★街頭募金★

60,995円

1月27日に黒川復興プロジェクトへ
寄付しました。

★特別献金★

1月28日 世界こども助け合いの日献金
29,350円
ご協力、ありがとうございました。

★共同回心式★

日 時：3月2日(金)

午前10時～、午後7時30分～

水巻教会で参加できない時は、北九州信徒
協だよりに、他の教会の共同回心式の日程が
載りますので、そちらをご覧ください。

★ホームレス支援炊き出し★

日 時：3月23日(金) 11時～

場 所：水巻教会 信徒会館

たくさんの方のご協力をお願いします。
詳しくは、教会のお知らせをご覧ください。

★聖週間のお知らせ★

25日(日)(受難の主日) 9時30分より

29日(木)(聖木曜日) 19時30分より

30日(金)(聖金曜日) 19時30分より

31日(土)(復活徹夜祭) 19時30分より

4月1日(日)(復活の主日) 10時より

★マリア子どもの家 竣工式★

日 時：3月24日(土) 10時～



教会学校の ページ



マルコによる福音 1章 21 節から 28 節を音読しました。

福音の中に書かれている「権威ある者」という言葉の意味について考えました。

小学生の蓮君にとっては少し難しい言葉ですが、蓮君は大まかな意味をとらえて
いてすごいなあと感じました。冊子こじかの中の解説や、リーダーたちと話して
いく中で更に理解を深めていきました。

律法学者、政治家、医者、先生など世の中には「エライ」といわれる仕事がありま
す。でも、その仕事の役目が偉くても、その人自身が偉いかは別の問題です。偉い
役目を持っているだけでなく、その役目を行ったときその人は「権威ある」といわれ
るのです。

聖書の中に書かれていた律法学者たちは、律法を教える大切な役目を実際にはし
ていませんでした。イエス様は見た目にはただの「大工さんの息子」でしたが、困っ
ている人や病気の人のところに出ていき助けとなりました。そんなイエス様を見て
たくさんの方がこの人は「権威がある」と認めたのです。

私達も役目を持っているだけでなく、行う人になれるように神様にお祈りして
勇氣と力を頂きましょう。

1
月
28
日(日)

出席者
山田
蓮さん